

●実務経験のある教員等による授業科目  
ダンス科

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時間数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	JAZZ	38	38	必修	実技	○	76
	HOUSE	38	38	必修	実技	○	76
	アニメーション	38	38	必修	実技	○	76
	HIPHOP A	38	38	必修	実技	○	76
	HIPHOP B	38	38	必修	実技	○	76
	スタイル	19	19	必修	実技	○	38
	自己プロデューススキル	19	19	必修	講義	○	38
	キッズダンス指導／振付制作実習	19	19	必修	実習		-
	ダンスムーブメントスキル	38	38	必修	講義	○	76
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
卒業時最少時間		1807					1458

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2020年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、AWA株式会社、株式会社コログラフィ等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	93 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む          基本PPを使用したの授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。          検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	<p>社会人常識マナー検定テキスト2・3級          自作プリント          授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10%</p>
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マダラートシート」の作成 就職志望:Ⅰ【目標設定と計画、自覚】Z世代初動での目標設定の決め、見直しと計画。「マダラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マダラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つけなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つけなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レビュー(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マダラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし 授業形態/対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知らせよう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×	
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	45	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集(Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。          科目数は毎年約30科目ほどである。          各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

# SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	JAZZ		実務授業の有無	○
担当講師	川島文太／川島凧佳		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1・2	年	必修・選択	必修
対象学科	ダンス科		総授業時間	38 時間
			対象コース	全コース

授業概要	<p>ダンスの軸となる『トレーニング&amp;ストレッチ』強化。 一つのジャンルに特化するのではなく、『HIP-HOP』『バレエ』『JAZZ』『コンテンポラリー』オールジャンルを踊りこなし、アーティストとしての『自分』を確立できるようにする。 各自、学んだジャンルを取り入れた振付作成。『踊る』『創る』『表現する』をプレゼンしてもらい、ダンスの価値観と向上を目指す。さらにインストラクターとして指導できるように基礎の教え方も指導していく。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 『講師自己紹介』 この自己紹介を通して具体的にどのように成長したいか、自分の中での決意と相手の目標を理解し合う。
2	・ストレッチ&トレーニング(踊る上で必要不可欠な体作り&柔軟)①ダンス基礎レッスン ②トレーニング ③ストレッチ
3	・ストレッチ&トレーニング(踊る上で必要不可欠な体作り&柔軟)①ダンス基礎レッスン ②トレーニング ③ストレッチ
4	・ターン&ジャンプ(振付の繋ぎに欠かせないターン&ジャンプ強化)①ダンス基礎レッスン ②トレーニング ③ストレッチ ④ターン&ジャンプ
5	・バレエ基礎(バーを使ってバレエの軸、筋肉の使い方教えていく)①ダンス基礎レッスン ②バレエ基礎 ③コンビネーション(振付)
6	・バレエ基礎(アダージオ、バーなしセンターレッスン)①ダンス基礎レッスン ②バレエ基礎 ③コンビネーション(振付)
7	・バレエ基礎(クロワゼ、フロアの端から動きを入れ速さやの中にアームスを綺麗に使いこなす)①ダンス基礎レッスン ②バレエ基礎 ③コンビネーション(振付)
8	・コンテ基礎(床の技や、フロアを入れコンテに必要な流れを作っていく)①ダンス基礎レッスン ②コンテ基礎 ③コンビネーション(振付)
9	・コンテ基礎(手や足の使い方を周りとは合わせられるようにする)①ダンス基礎レッスン ②コンテ基礎 ③コンビネーション(振付)
10	・コンテ基礎(床や技を入れた振付の流れをスムーズにする)①ダンス基礎レッスン ②コンテ基礎 ③コンビネーション(振付)
11	・JAZZ基礎(jazzポディション強化 自分の見せ方を研究する)①ダンス基礎レッスン ②JAZZ基礎 ③コンビネーション(振付)
12	・JAZZ基礎(jazzポディション&クロワゼ、前回の基礎に速さを足していく)①ダンス基礎レッスン ②JAZZ基礎 ③コンビネーション(振付)
13	・JAZZ基礎(シアターjazz、ポディションを振付にし自分にあった形を見つけていく)①ダンス基礎レッスン ②JAZZ基礎 ③コンビネーション(振付)
14	・JAZZ基礎(リリカルjazz、コンテとjazzの振付をミックス)①ダンス基礎レッスン ②JAZZ基礎 ③コンビネーション(振付)
15	・HIP-HOP基礎(POP、アニメーション基礎)①ダンス基礎レッスン ②HIP-HOP基礎 ③コンビネーション(振付)
16	・HIP-HOP基礎(リズム取りダウン・アップ)①ダンス基礎レッスン ②HIP-HOP基礎 ③コンビネーション(振付)
17	・HIP-HOP基礎(リズム取り+アイソレーション強化 踊りに厚みをだす)①ダンス基礎レッスン ②HIP-HOP基礎 ③コンビネーション(振付)
18	各自振付作成&発表①振付作成 ②一人ずつパフォーマンスチェック ③アドバイス&意見交換
19	各自振付作成&発表①振付作成 ②一人ずつパフォーマンスチェック ③アドバイス&意見交換

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017.11.14 VIBE DANCE COMPETITION JRS 優勝</li> <li>・2018.2.3 VIBE DANCE COMPETITION EXHIBITION 出演</li> <li>・2018.6.30 BODY ROCK COMPETITION JRS 三位</li> <li>・2019.1.19 東方神起LIVE TOUR TOMORROW オープニングパフォーマンス</li> <li>・2019.2.10 VIBE DANCE COMPETITION JRS 優勝(二連覇)</li> <li>・2019.3.31 VIBE DANCE COMPETITION EXHIBITION 出演</li> <li>・2019.9.15第34回国民文化祭・新潟2019天皇陛下御前演</li> <li>・2020.9.24 NBC World of Dance Movie Competition 第2位</li> <li>・2021.2.8 NBC World of Dance Movie Competition 優勝</li> </ul>

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HOUSE		実務授業の有無	○
担当講師	津原悠／後藤鈴奈		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	様々なダンスジャンルで応用されている汎用性の高いジャンル。実際に本場LAで培った技術をさらに現代のダンスと融合させ今までのハウスジャンルとは違った見せ方をこの授業で身につけていく。日本国内でも踊れる人が少ないスキルを見つけ1ダンサーとしての武器として、自分の個性として確立していくことがこれから活動していく中で強みになるよう指導していく。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 理想のダンサー像、今年度での自分自身の目標提示。その目標に対してのプロセスを考える。振り付け
2	テーマ「体重移動 重心の掛け方」ステップを踏む上での体の使い方を重点的に指導 振り付け続き
3	テーマ「クオリティの高い踊りをするための体の使い方 トレーニング」実際に様々なステップを体感しその中でクオリティの高い踊りのための体の使い方を重点的に指導 振り付け
4	テーマ「基礎力」ステップを基礎のリズム取りから指導 振り付け続き
5	テーマ「応用力」学んだステップをコンビネーションとして繋げた時に変わる体の使い方、重心の掛け方を重点的に指導 振り付け
6	テーマ「コンビネーション」4エイト程の短いコンビネーションをどれだけ自分の動きにできるのかを重点的に指導 振り付け続き
7	テーマ「コンビネーション」4エイト程の短いコンビネーションをどれだけ自分の動きにできるのかを重点的に指導 振り付け
8	テーマ「コンビネーション」4エイト程の短いコンビネーションをどれだけ自分の動きにできるのかを重点的に指導 振り付け続き
9	授業で行ってきたステップ基礎のコンビネーションを自分で作り課題の曲に対して発表をする。講師、生徒同士が各々のコンビネーションをチェックし合い、お互いの課題点を深堀りする。その課題を後期に繋げさらにスキルアップを目指す。難易度の高い振り付け
10	前期の振り返り、今年度の目標に向かって前進しているのか前期の授業で覚えたステップのチェック
11	テーマ「基礎力」難易度の高いステップを指導 振り付け
12	テーマ「基礎力」難易度の高いステップを指導 振り付け続き
13	テーマ「基礎力」難易度の高いステップを指導 振り付け
14	テーマ「基礎力」難易度の高いステップを指導 振り付け続き
15	テーマ「スキルアップ」コンビネーション、振り付けを自分のものにして表現していくことを重点的に指導 振り付け
16	テーマ「スキルアップ」コンビネーション、振り付けを自分のものにして表現していくことを重点的に指導 振り付け続き
17	テーマ「スキルアップ」コンビネーション、振り付けを自分のものにして表現していくことを重点的に指導 振り付け
18	テーマ「スキルアップ」コンビネーション、振り付けを自分のものにして表現していくことを重点的に指導 振り付け続き
19	1年間の授業で学んだハウスのスキルを課題曲で一人一人が発表講師、生徒同士が各々のコンビネーションをチェックし合い、お互いの課題点を深堀りする。最初に発表した今年度の自分の目標に対して納得のいくダンサーとなれたか自己分析をし、講師からのアドバイス。

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	国民文化祭 令和天皇御前演舞 振り付けNGT48中井りか 東京ドームシティソロ公演 バックダンサーVIBE DANCE COMPETITION 出演WOD DV(グローバルダンスビジュアルコンペティション) 優勝作品振り付け様々CM振り付け、出演

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アニメーション		実務授業の有無	○
担当講師	川島侃太／川島凪佳		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>コンテンポラリーの基礎、振り付けをし、どのジャンルにも応用でき、かつ柔軟性を身につけ体の繋げ方を学ぶ。コンテンポラリーのフロアワークを学び振り付けを踊るにあたっての多様性を身につける。振り付けのクラスでは生徒同士が得意、不得意のジャンルを明確にし生徒同士が教え、学び合える環境作り。また、生徒たちで構成を入れや、映像撮影など踊ること以外のことを強化する時間。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ストレッチ・コンテンポラリー基礎・コンビネーション・振り付け
2	ストレッチ・コンテンポラリーフロアワーク・振り付け続き
3	ストレッチ・コンテンポラリー振り付け・振り付け「生徒同士での構成3〜5人ペア&シューティング」
4	ストレッチ・コンテンポラリー基礎・コンビネーション・振り付け
5	ストレッチ・コンテンポラリーフロアワーク・振り付け続き
6	ストレッチ・コンテンポラリー振り付け・振り付け「生徒同士での構成3〜5人ペア&シューティング」
7	ストレッチ・コンテンポラリー基礎・コンビネーション・振り付け
8	ストレッチ・コンテンポラリーフロアワーク・振り付け続き
9	ストレッチ・コンテンポラリー振り付け・振り付け「生徒同士での構成3〜5人ペア&シューティング」
10	ストレッチ・コンタクト・コンビネーション・振り付け
11	ストレッチ・リフト・コンビネーション・振り付け続き
12	ストレッチ・フロアワーク・コンビネーション・振り付け「生徒同士での構成半分半分&シューティング」
13	ストレッチ・コンタクト・コンビネーション・振り付け
14	ストレッチ・リフト・コンビネーション・振り付け続き
15	ストレッチ・フロアワーク・コンビネーション・振り付け「生徒同士での構成半分半分&シューティング」
16	ストレッチ・コンタクト・コンビネーション・振り付け
17	ストレッチ・リフト・コンビネーション・振り付け続き
18	ストレッチ・フロアワーク・コンビネーション・振り付け「生徒同士での構成半分半分&シューティング」
19	総合振り付け「生徒一人一人が8×8の振り付けを作ってくる・発表

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2017年: VIBE DANCE COMPETITION 1st place / NST ドリーミング 出演 2018年: NGT48 中井リカ ソロコンサート バックダンサー / EXO CBX Japan Tour 振り付けアシスタント / Body Rock Dance Competition 3rd place / JDAC 全日本ダンス教育指導者指導技術コンクール ゲスト 2019年: 東方神起 Live TOUR オープニングアクト / VIBE DANCE COMPETITION 1st place / 国民文化祭 出演 / JDAC 全日本ダンス教育指導者指導技術コンクール ゲスト / 中国のアイドルノンノン バックダンサー 2020年 Chibi Unity World of Dance 振付

# SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HIPHOP A		実務授業の有無	○
担当講師	川島侃太／川島凧佳		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1・2	年	必修・選択	必修
対象学科	ダンス科		総授業時間	38 時間
		対象コース	全コース	

授業概要	1,2時間目はダンスを踊るにあたって必要不可欠な「筋力」、「バランス感覚」、「基礎体力」の向上、その体を理解しての振り付けの踊り方、自分の見せ方を重点的に学ぶ。それに伴い、自分の体の弱いところを発見し授業外でも自主的にトレーニングできる学びを与える。午前中の振り付けクラスはなるべく先生の体の使い方、音の取り方に特化した時間にする。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	身体作りの必要性の認知・振り付けを踊るときに意識すること・体の使い方
2	体感トレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け
3	筋力トレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け続き
4	基礎体カトレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け
5	体感トレーニング音、体の使い方を意識した振り付け続き
6	筋力トレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け
7	基礎体カトレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け続き
8	総合トレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け
9	前期を振り返っての個々への課題提示・体の使い方を意識した振り付け続き
10	前期で提示した個々の課題テスト・音、体の使い方を意識した振り付け
11	体感トレーニングの動きへの応用・音、体の使い方を意識した振り付け続き
12	筋力トレーニングの動きへの応用・音、体の使い方を意識した振り付け
13	基礎体カトレーニングの動きへの応用・音、体の使い方を意識した振り付け続き
14	体感トレーニングの動きへの応用・音、体の使い方を意識した振り付け
15	筋力トレーニングの動きへの応用・音、体の使い方を意識した振り付け続き
16	基礎体カトレーニングの動きへの応用・音、体の使い方を意識した振り付け
17	総合トレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け続き
18	総合トレーニング・音、体の使い方を意識した振り付け
19	一年間のまとめ、来期の個々への課題・音、体の使い方を意識した振り付け続き

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	2017年: VIBE DANCE COMPETITION 1st place / NST ドリーミング 出演 2018年: NGT48 中井リカ ソロコンサート バックダンサー / EXO CBX Japan Tour 振り付けアシスタント / Body Rock Dance Competition 3rd place / JDAC 全日本ダンス教育指導者指導技術コンクール ゲスト 2019年: 東方神起 Live TOUR オープニングアクト / VIBE DANCE COMPETITION 1st place / 国民文化祭 出演 / JDAC 全日本ダンス教育指導者指導技術コンクール ゲスト / 中国のアイドル Nonnon バックダンサー 2020年 Chibi Unity World of Dance 振付



# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HIP HOP B(フリースタイル)		実務授業の有無	○
担当講師	宮下菜葉／村山なな／瀬倉凜／小林由		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	

授業概要	<p>個々の武器となるようから学べるクラス。 HIPHOP,GIRLS HIPHOP,JAZZ,POP,アニメーションなど様々なジャンルの基礎を身につけ、個々のスタイルに応用していく。 様々なジャンルに触れてみることによって得意・不得意を見つけ新たな発見をし、オールジャンルを踊れるダンサーへと指導する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介、授業趣旨、意義、今後のスケジュール等の説明。今年度の目標提示。基礎、コンビネーション
2	基礎、コンビネーションを重点的に指導
3	基礎、コンビネーションを重点的に指導
4	基礎、コンビネーションを重点的に指導 振り付けを踊るスキルを講師からアドバイス
5	フリースタイルを指導、動きの癖などをアドバイス
6	基礎、コンビネーションを重点的に指導
7	フリースタイルを指導、動きの癖などをアドバイス
8	基礎、コンビネーションを重点的に指導
9	各ジャンルのテクニックや基礎のチェック
10	前期の振り返り、後期の目標提示、前期のおさらい、振付
11	上半身の動きにフォーカスを当て指導 前期の課題を指導
12	上半身の動きにフォーカスを当て指導 前期の課題を指導
13	下半身の動きにフォーカスを当て指導 前期の課題を指導
14	下半身の動きにフォーカスを当て指導 前期の課題を指導
15	身体全体を使いこなし全ジャンルに対応できる様に指導
16	身体全体を使いこなし全ジャンルに対応できる様に指導
17	フリースタイルを指導、動きの癖などをアドバイス
18	フリースタイルを指導、動きの癖などをアドバイス
19	各ジャンルの課題振付+フリースタイルで発表。生徒同士、また講師からアドバイス、自己分析をし課題を明確に見つける。

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	国民文化祭 令和天皇御前演舞 VIBE DANCE COMPETITION 3連覇

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	スタイル		実務授業の有無	○
担当講師	儀間 鴻太		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	全コース

授業概要	<p>スタイルヒップホップというジャンルで特徴は曲の歌詞や世界観のイメージを表現するのが主です。それを踏まえつつR&amp;B曲を使った踊りで感情を表せるような振り付けを作成し生徒にそれを自分なりに表現してもらい僕からもアドバイスをするながれです。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	スタイルヒップホップはどういう踊りなのかを説明して動画を2、3個見て学ぶ。その後スタイルヒップホップに必要なヒップホップ、ジャズ基礎を学ぶ。①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
2	前回の復習＋見せ方(角度)を学ぶ。①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎
3	前回の復習＋リズム取り(ダウンのリズム)①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
4	前回の復習＋リズム取り(アップのリズム)①ヒップホップ基礎②ジャズ基礎③筋トレ
5	前回の復習＋スタイルヒップホップ振り付け①ヒップホップ基礎②振り付け
6	前回の復習①ヒップホップ②振り付け
7	ストレッチ＋振り付け
8	前回の復習＋振り付けを1分ほど進める
9	前回の復習＋実際に動画を取り、自分がどう表現できてるかを確認
10	ストレッチ＋リズム取り(ダウンのリズム)＋応用
11	前回の復習＋リズム取り(アップのリズム)＋応用
12	前回の復習＋フリースタイル講義
13	ストレッチ＋前回の復習
14	ストレッチ＋振り付け
15	ストレッチ＋前回の復習＋一人一人ピックアップして全員でみる
16	ストレッチ＋たりない基礎のレッスン
17	ストレッチ＋1.2分の振り付けをする
18	前回の復習
19	振り付けの撮影

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲80%、ダンススキル審査10%、表現力10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	UNITYダンス舞台 2回出演 UNITY ONLINE 舞台 出演 SUGA × SHOW!動画プロジェクト(撮影、動画編集、振り付け) San Diego留学(三ヶ月)

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	自己プロデューススキル		実務授業の有無	○
担当講師	川島文太／儀間鴻太		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	

授業概要	これからのエンタテインメント業界においてテクニックだけではなく、ダンサーは特に人と人をつなぐ人間性が重要である。その中でも、自分自身の信念や経歴、目標などを具体的に伝えるコミュニケーション能力が必須である。テーマに基づいたグループでのディスカッションや企画書の作成、企画書を使っての自己プレゼンテーションの時間を通して、自分自身を知り、アーティストとして、人として必要な人間性を身につけていく時間にしていく。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 『講師自己紹介』 この自己紹介を通してどのような自己紹介、プレゼンテーションが効果的なのかを伝える。
2	『1分間自己紹介大会』 自分自身の伝えたい事を1分間にまとめてもらい、長所や自分の一番大切にしている事などを発見してもらい、そして、メンバーに応じて印象の残り方や山場の作り方を考える。
3	『1分間自己紹介リベンジ』 前回の反省を活かし最高の状態で自己紹介が行えるように準備をする。 一番大切な所を一番効果的な伝え方で伝えられるようになる事を目標とする。
4	『今までの授業を参考にアイデア』 今までの授業を参考に自分達のアイデアを出しながらプレゼン準備を行うテーマは『夢、目標、その為にSHOW!で行う事。』 自分たちに必要な事を再確認すると共に自分自身が一番合う表現方法を元に発表の準備を進める。
5	『今までの授業を参考にアイデア』 今までの授業を参考に自分達のアイデアを出しながらプレゼン準備を行うテーマは『夢、目標、その為にSHOW!で行う事。』 自分たちに必要な事を再確認すると共に自分自身が一番合う表現方法を元に発表の準備を進める。
6	『10分間自己紹介』 前回2時間の準備の中で50分間で4人ずつ発表をしてもらいそれについてのレポート作成と良かったところを記入しておく、その発表とレポートを評価基準とする。
7	『10分間自己紹介』 前回2時間の準備の中で50分間で4人ずつ発表をしてもらいそれについてのレポート作成と良かったところを記入しておく、その発表とレポートを評価基準とする。
8	『10分間自己紹介』 前回2時間の準備の中で50分間で4人ずつ発表をしてもらいそれについてのレポート作成と良かったところを記入しておく、その発表とレポートを評価基準とする。
9	『10分間自己紹介』 前回2時間の準備の中で50分間で4人ずつ発表をしてもらいそれについてのレポート作成と良かったところを記入しておく、その発表とレポートを評価基準とする。
10	イントロダクション、(後期)授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 『名刺交換』 後期は今まで身につけた自己アピール能力を生かしより実践に近い形で自分自身や商品を人に伝える形を取る。
11	『SNSマーケティング』 情報社会の中自分自身を売り出す上で大切なSNSについてのノウハウを学ぶ。 (YouTube,Insagram)
12	『企画書、営業について』 様々なアイデアをより具体的に相手に伝えるために必要な企画書の構成について学ぶ、DANCE PRESENTATION UNITYが今まで企画してきた内容を紹介。企画を相手に伝える上で大切な営業の場についての解説を行う。
13	『企画書制作』 2人1組でペアとなり企画を作成する。テーマはなし。好きなテーマに基づいて担当に売り込む企画書を作成し、営業を行う。3時間で企画書を作成させる。
14	『企画書制作』 2人1組でペアとなり企画を作成する。テーマはなし。好きなテーマに基づいて担当に売り込む企画書を作成し、営業を行う。3時間で企画書を作成させる。
15	『企画書制作』 2人1組でペアとなり企画を作成する。テーマはなし。好きなテーマに基づいて担当に売り込む企画書を作成し、営業を行う。3時間で企画書を作成させる。
16	『営業テスト』 作成した企画書に基づいて二人で営業の実践テストを行う。制限時間20分間の間で企画の明確さ根拠、紐解きがあるかその企画が相乗効果を生み出し、未来に繋がるか、営業の際のコミュニケーション能力をチェックする時間とする(4時間)
17	『営業テスト』 作成した企画書に基づいて二人で営業の実践テストを行う。制限時間20分間の間で企画の明確さ根拠、紐解きがあるかその企画が相乗効果を生み出し、未来に繋がるか、営業の際のコミュニケーション能力をチェックする時間とする(4時間)
18	『営業テスト』 作成した企画書に基づいて二人で営業の実践テストを行う。制限時間20分間の間で企画の明確さ根拠、紐解きがあるかその企画が相乗効果を生み出し、未来に繋がるか、営業の際のコミュニケーション能力をチェックする時間とする(4時間)
19	『営業テスト』 作成した企画書に基づいて二人で営業の実践テストを行う。制限時間20分間の間で企画の明確さ根拠、紐解きがあるかその企画が相乗効果を生み出し、未来に繋がるか、営業の際のコミュニケーション能力をチェックする時間とする。

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	UNTIYダンス舞台 2回出演 UNITY ONLINE 舞台 出演 SUGA×SHOW!動画プロジェクト(撮影、動画編集、振り付け) San Diego留学(三ヶ月)

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	キッズダンス指導／振付制作実習		実務授業の有無	×	
担当講師	儀間鴻太		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1・2	年	総授業時間	19	時間
対象学科	ダンス科		対象コース	ダンスインストラクターコース	

授業概要	日和小学校クラブ活動の一環としてダンスレッスンを行う。 小学校4～6年生を対象に、文化祭で披露するダンスの振付・構成・レッスンを行う。 この授業で、ダンスインストラクターを経験する。 ※小学校へのレッスンは小学校の年間スケジュールにより変動する。				
------	--	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業内容の説明と動機づけ。 初回レッスンの内容を相談する。(ストレッチの流れ)
2	1人3項目ずつ、ストレッチの説明を行う。 フィードバックを加え、実際のレッスンメニューを組み立てる。
3	前回の続き
4	1回目小学校レッスン(目標/曲決め)
5	チーム分けをおこない、2曲の音源編集と振付を行う。
6	2曲の振付を行う。
7	2回目小学校レッスン(ストレッチ/振付指導) ※担当グループのみ
8	レッスン内容の修正と振付創作。
9	レッスン内容の修正と振付創作。
10	本番までにやってほしいことの確認。 レッスンの内容を決め。
11	4回目小学校レッスン フィードバック
12	5回目小学校レッスン フィードバック
13	6回目小学校レッスン (動画対応→imovieを使用しての動画編集)
14	7回目小学校レッスン フィードバック
15	8回目小学校レッスン フィードバック
16	9回目小学校レッスン フィードバック
17	発表会
18	小学生と本番の感想発表/フィードバック
19	ストレッチ 1時間でできる簡単な振り付けを指導。

教科書等	教書はなし。 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	授業態度および学習意欲70%、指導力15%、協調性15% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

# SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	HOUSE		実務授業の有無	○
担当講師	津原悠／後藤鈴奈		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ダンス科		対象コース	

授業概要	<p>今後ネット社会になっていく中で必ず必要になってくる技術が映像分野です。ダンスを直接表現する場が少なくなり、インターネットを通して表現する場が増えていきます。仮にオーディションの場合でもその映像を見て様々な人は評価をしていきます。その際、知識がなければそれだけで不利になってしまいます。自分たちの躍りをさらにいい作品に見せるために世界で勝ち抜いてきた映像技術を学びましょう。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	自己紹介、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 使用する編集ソフト、機材の説明
2	テーマ「動画のテーマ決め」各自どのような動画をこれから制作していくか決めていく。
3	テーマ「カメラの知識」ISO、フレームレート、シャッタースピードなど各設定、表現の違いを指導。
4	テーマ「構図決め」動画に必要な場面を決めていき、必要な素材をイメージして全体像を作る。
5	テーマ「ジンバルを使用しての撮影」カメラをジンバルに取り付け、実際に動かしながらの撮影技法を指導。
6	テーマ「収録データ」収録データの保存方法、ファイル形式の特性を指導。
7	テーマ「撮影」構図決めをした内容の場所へ行き実際に撮影。その際、細かな撮影技法の指導
8	テーマ「撮影」構図決めをした内容の場所へ行き実際に撮影。その際、細かな撮影技法の指導
9	カメラワーク、カメラの機能、様々な撮影技法、照明の使い方を実践して高クオリティな映像素材を撮影していき後期から始まる編集に使う素材とする。
10	テーマ「編集ソフトの説明」使用する編集ソフトの特性、どのような表現ができるのか指導。
11	テーマ「音源」使用したい音源を探す。指定した分数に音源を編集。
12	テーマ「Bロール」動画冒頭のオープニングを制作。
13	テーマ「カット」各自撮影した素材にカット作業をする。
14	テーマ「カラーグレーディング」理想の色味になるよう指導。
15	テーマ「カラーグレーディング」理想の色味になるよう指導。
16	テーマ「エフェクト トランジション」クオリティの高い映像作品にするために必要なエフェクトなどの適用。必要であれば自作エフェクト、トランジションの指導。
17	映像作品制作全ての作業をさらに深掘りし、さらにクオリティを上げていく。講師が一人一人にアドバイスして周る。
18	映像作品制作全ての作業をさらに深掘りし、さらにクオリティを上げていく。講師が一人一人にアドバイスして周る。
19	これまでの授業でカット作業、カラーグレーディング、エフェクトなどの総仕上げをし、講師が一人一人の映像をチェックし評価をして全員で共有し今後の課題とする。

教科書等	教科書はなし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	WOD DV(グローバルダンスビジュアルコンペティション)優勝新潟市主催 オンライン活用セミナー 動画編集新潟日報 社内研修 動画制作、編集様々なCM制作